

令和元年12月定例会 一般質問通告要旨

順番 6

質問議員名	五十嵐 良一	
質問項目	質問要旨	要求答弁者
1 自然災害時の危機管理体制強化について	<p>今年の台風 15、19 号は大型で非常に強い勢力を維持したまま日本の太平洋側に上陸し北上しました。その際には多くの都県に大規模な災害を及ぼし未だに以前の生活に戻れない被災状況です。このことは他人ごとではなく当市でも起こりえる大災害であります。よって、ハザードマップの最新保存版が H30.4 に配布済みですが、市民の生命を第一に守るための避難準備情報伝達体制の確立と災害ごみ、し尿処理などについて市長にお伺いします。</p> <p>(1) 避難勧告等に関する内閣府のガイドラインが H31.3 に改定されたが、当市のハザードマップへの反映は行わないのか</p> <p>(2) 情報弱者への避難準備情報伝達体制の必要性について</p> <p>(3) 災害ごみの仮置き場について、どのようにお考えか</p> <p>(4) 災害ごみ、し尿処理への迅速な対応には、災害廃棄物処理計画の策定が必要と考えるが、当市の状況は</p>	市長
2 災害時における児童生徒の安全について	<p>東日本大震災の大津波犠牲者（小学生）の遺族が損害賠償を求めた訴訟判決には、「犠牲を教訓として防災対策に生かすべきだ」との見解や、また、学校保健安全法に基づいて学校関係者は児童生徒の災害時の安全対策として、「ハザードマップ等に浸水予測区域に含まれていなかったとしても安全に直接関わることから、独自の立場で高いレベルの防災対策の安全を確保する義務があり信頼性を検討すべき」との見解が盛り込まれています。このことから教育長にお伺いします。</p> <p>(1) ハザードマップに藤塚小学校が津波避難所兼指定緊急避難場所に指定されているが、藤塚小学校における、現状の児童津波避難対策の安全性についてどのようにお考えか</p> <p>(2) ハザードマップの外水氾濫・土砂災害時における浸水予測区域に七葉小中学校区が含まれているが、同小中学校における、現状の児童生徒避難対策の安全性についてどのようにお考えか</p> <p>(3) 災害時における学校側の児童生徒保護責任についてのお考えは</p> <p>(4) 各市立小中学校での地理的条件に沿った避難訓練の実施状況について</p>	教育長